



2025年 AI覇権の地殻変動

OpenAIの存亡を賭けた二正面作戦「Shallotpeat」と「Garlic」の全貌

かつての絶対王者に突きつけられた「コード・レッド」

状況 (Situation)

2025年後半、OpenAIは長らく維持してきた技術的優位性を急速に喪失。絶対王者としての地位が揺らぐ。

複雑化 (Complication)

GoogleとAnthropicによる相次ぐ技術的ブレイクスルーと、内部で露呈したGPT-5開発における「スケーリングの失敗」。

解決策 (Resolution)

長期的なAGIへの道を再構築する「守り (Shallotpeat)」と、市場シェアを死守する短期的な「攻め (Garlic)」を両立させる、起死回生の二正面作戦を開始。

競争環境の激変：2025年11月の地殻変動

2025年11月18日

Google

Google Gemini 3：「Vibe Coding」パラダイムの衝撃

曖昧な自然言語指示から完全なアプリケーションを生成。開発者体験を刷新し、Googleの巨大エコシステムとAIを統合。OpenAIの先行者利益を無効化する。

2025年11月24日

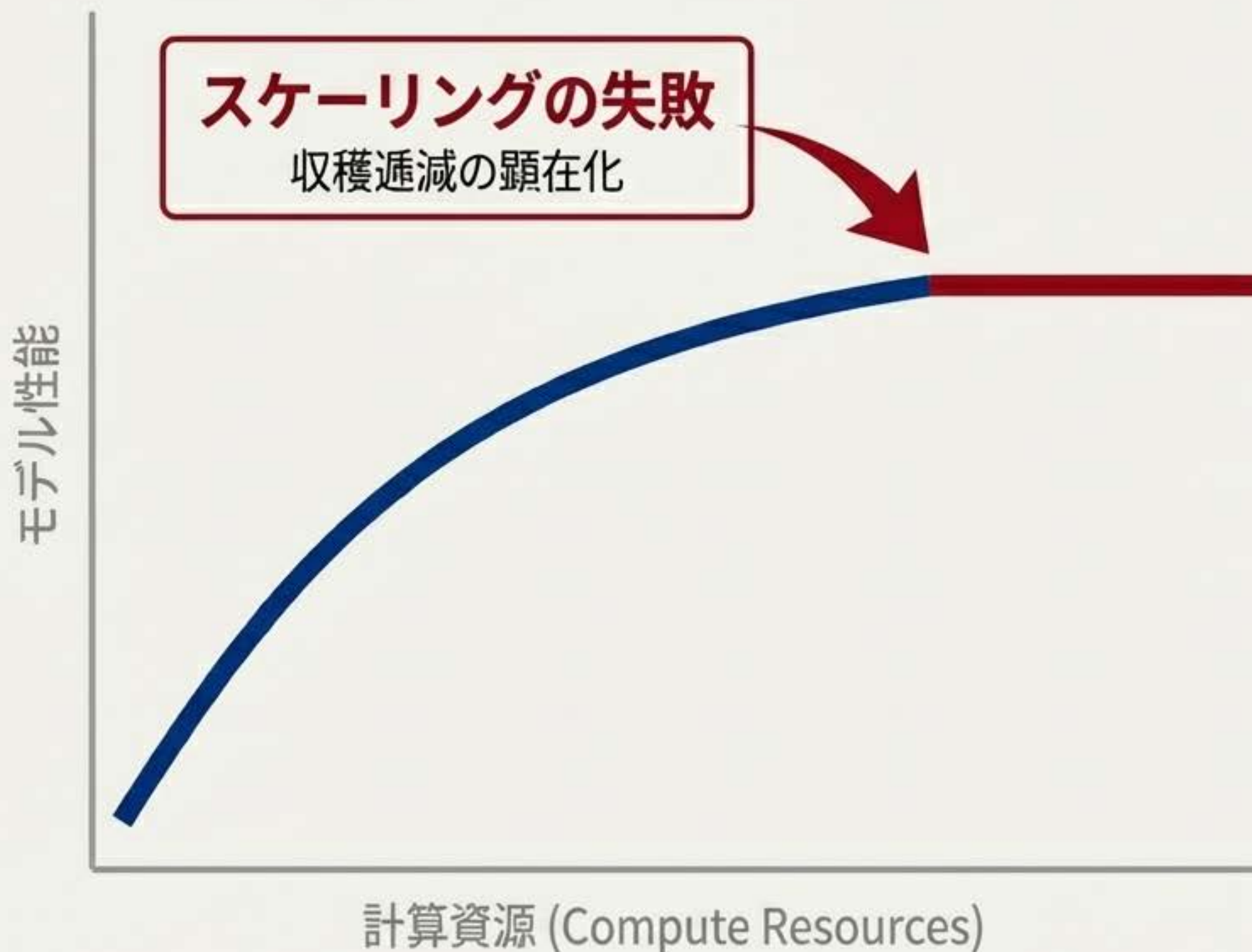
AI

Anthropic Opus 4.5：「エージェント的推論」による包囲網

SWE-benchで80.9%を記録。複雑な実務遂行能力で企業向け市場の基準を引き上げ、GPT-4oを陳腐化させる。



内部からの崩壊：勝利の方程式「スケーリング則」の限界



GPT-5開発が「スケーリングの失敗 (Scaling Failure)」に直面。計算量を増やしても性能が向上しない「収穫逡減」が顕在化した。

CEOサム・アルトマンは社内に「荒れた雰囲気 (Rough Vibes)」と「経済的な逆風」を警告。社内は「キャッチアップ」モードへの移行を余儀なくされた。

この技術的行き詰まりが、「Shallotpeat」と「Garlic」が始動した直接的な引き金である。

起死回生のマスタープラン：「守り」と「攻め」の二正面作戦



守り

Project Shallotpeat (守りの戦略)

崩れた土壌を再構築し、スケーリング則を再起動させる。AGIへの道を確保する長期的投資。



攻め

Model Garlic (攻めの戦略)

高効率な戦術兵器を即時投入する。競合に直接対抗し、市場シェアを死守する短期的対抗策。

【守り】 Project Shallotpeat : 崩れた「土壌」の再構築



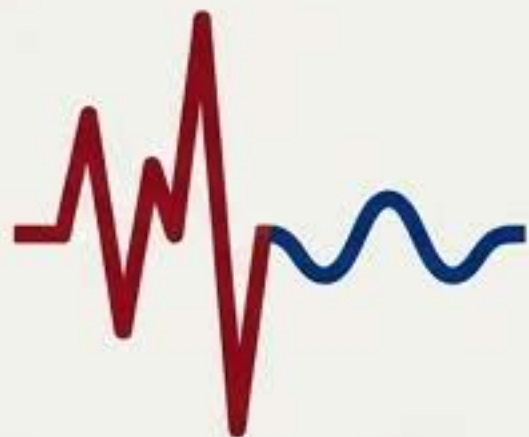
Metaphor Explanation:

- ****Name Origin****: 「Shallot (エシャロット)」は「Peat (泥炭)」主体の悪い土壌では育ちにくいという園芸学の比喻。
- ****Meaning****: OpenAIが依存してきた事前学習データセットやトレーニング環境 (=土壌) に、モデルの成長を阻害する「バグ」や「不純物」が含まれていたことの暗喩。

Strategic Goal:

****Strategic Goal****: 短期的な製品リリースを犠牲にしても、長期的なスケーリングの安定性を確保する。

Shallotpeatの技術的目標：学習プロセスに潜む「病」の治療



1. ロス・スパイクの克服 (Overcoming Loss Spikes)

Problem: 大規模モデルの学習中に損失関数が予期せず急上昇する現象。数ヶ月の計算資源を無に帰す致命的な問題。

Solution: 学習率の動的調整、層ごとの正規化、データカリキュラムの再設計により、学習の安定性を確保する。

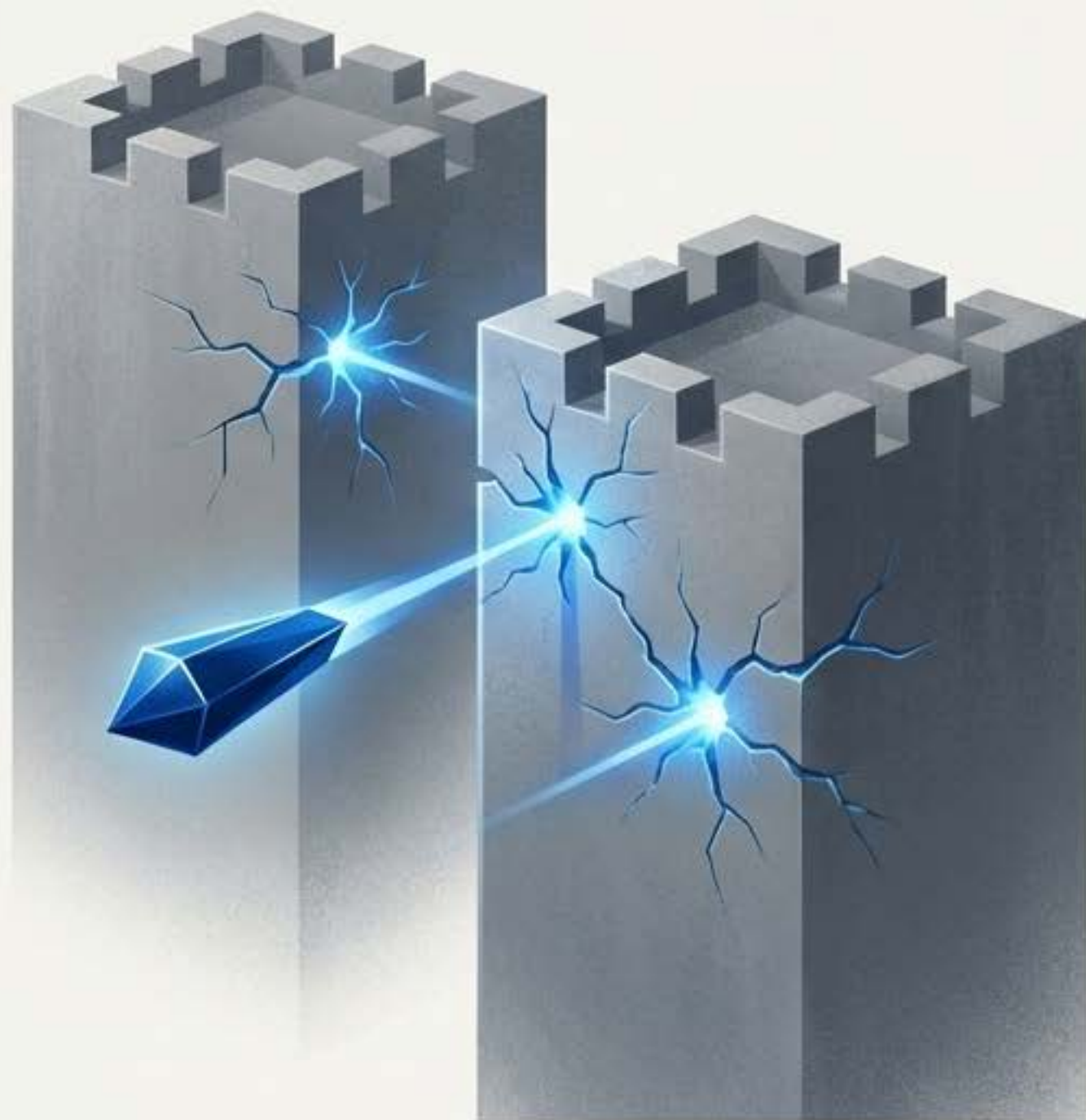


2. データ汚染への対抗 (Countering Data Contamination)

Problem: AI生成コンテンツによるネット汚染。「モデル崩壊(Model Collapse)」のリスクが現実化。

Solution: 合成データの生成と検証プロセスを自動化し、汚染データを排除するフィルタリング技術を開発する。

【攻め】 Model Garlic : 「小さく、賢い」 戦術的兵器



Strategic Positioning

Google Gemini 3およびAnthropic Opus 4.5への即応的な対抗策として開発された「戦術兵器」。

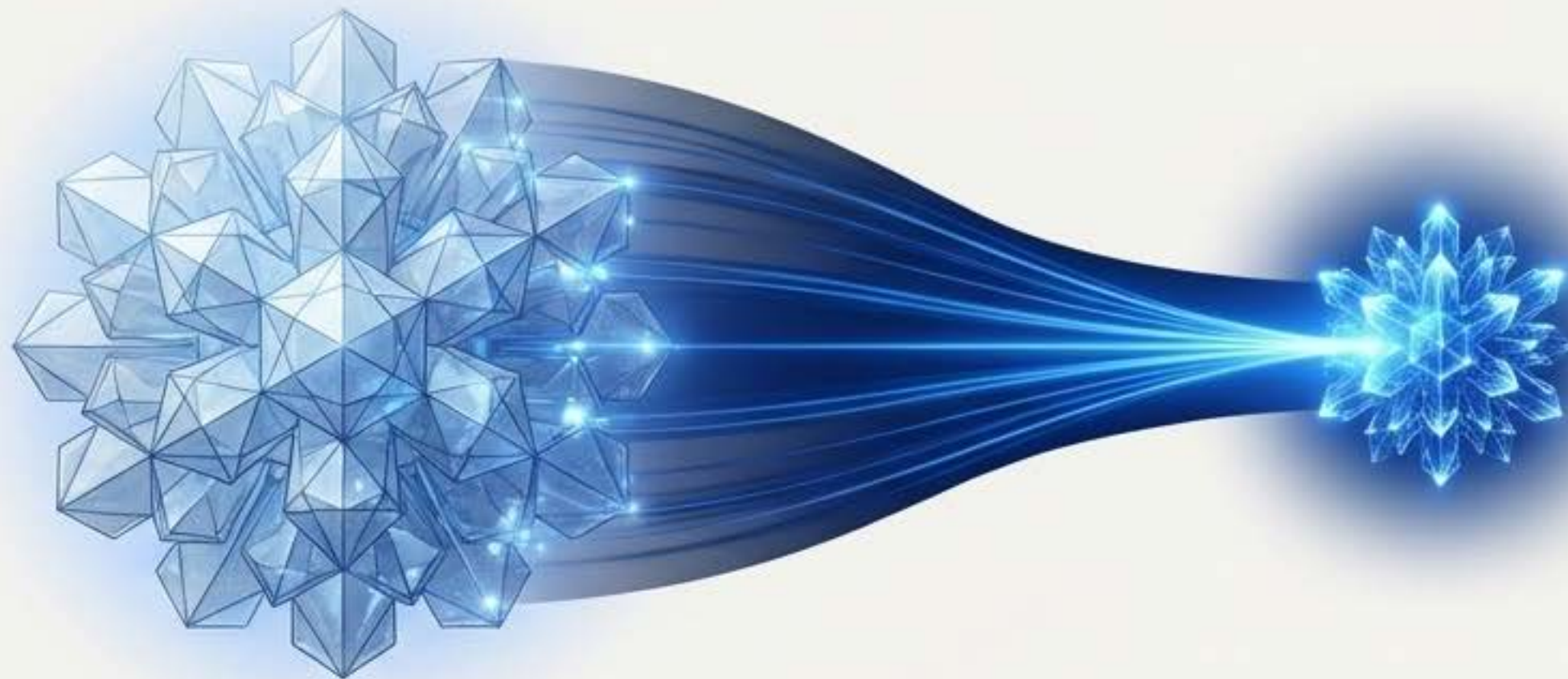
Key Strengths

- Performance: 内部評価では、特にコーディングと推論タスクにおいて競合を凌駕。
- Efficiency: パラメータ数を抑えた「小型モデル」でありながら、巨大モデルに匹敵する性能を、圧倒的なコスト効率で実現。

Market Plan

「GPT-5.2」または「GPT-5.5」として2026年初頭にリリース予定。

Garlicの核心技術：巨大モデルの知性を凝縮する「知識蒸留」



教師モデル (GPT-4.5) - Teacher Model

生徒モデル (Garlic) - Student Model

知識蒸留 (Knowledge Distillation)

巨大な未公開モデル（GPT-4.5など）を「**教師 (Teacher)**」として、その知識を小型の「**生徒 (Student)**」モデルであるGarlicに継承させる。

OpenAIのMark Chenは「巨大モデルの知識を、より小さなアーキテクチャに適合させることに成功した」と示唆。

Efficiency Mechanisms

スパース・アテンション (Sparse Attention): 重要なトークンに計算資源を集中させ、長い文脈でも計算量を線形に近づける。

Mixture of Depths: クエリの複雑さに応じて使用する層の深さを動的に変更し、リソース配分を最適化。

性能比較：Garlicはゲームチェンジャーとなりうるか

特徴	OpenAI "Garlic" (開発中)	Google Gemini 3	Anthropic Claude Opus 4.5
アーキテクチャ	高密度・蒸留モデル (Small/Dense)	Mixture of Experts (MoE)	大規模言語モデル
強み	コーディング、推論、 推論コスト効率	Vibe Coding, マルチモ ーダル, 1Mトークン	エージェント操作, 長文 脈, 安定性
主要ベンチマーク	内部テストで競合をリード (Coding/Reasoning)	LM Arena #1 (1501 Elo)	SWE-bench Verified 80.9%
リリース予定	2026年初頭 (GPT-5.2/5.5)	2025年11月18日 (既出)	2025年11月24日 (既出)

2026年の主戦場：チャットから「自律実行エージェント」へ



① 開発者エコシステム (Developer Ecosystem)

Googleの「Vibe Coding」が築いた牙城に対し、OpenAIはGarlicの高性能とサードパーティツール連携で対抗する必要がある。



② 企業向けAIエージェント (Enterprise AI Agents)

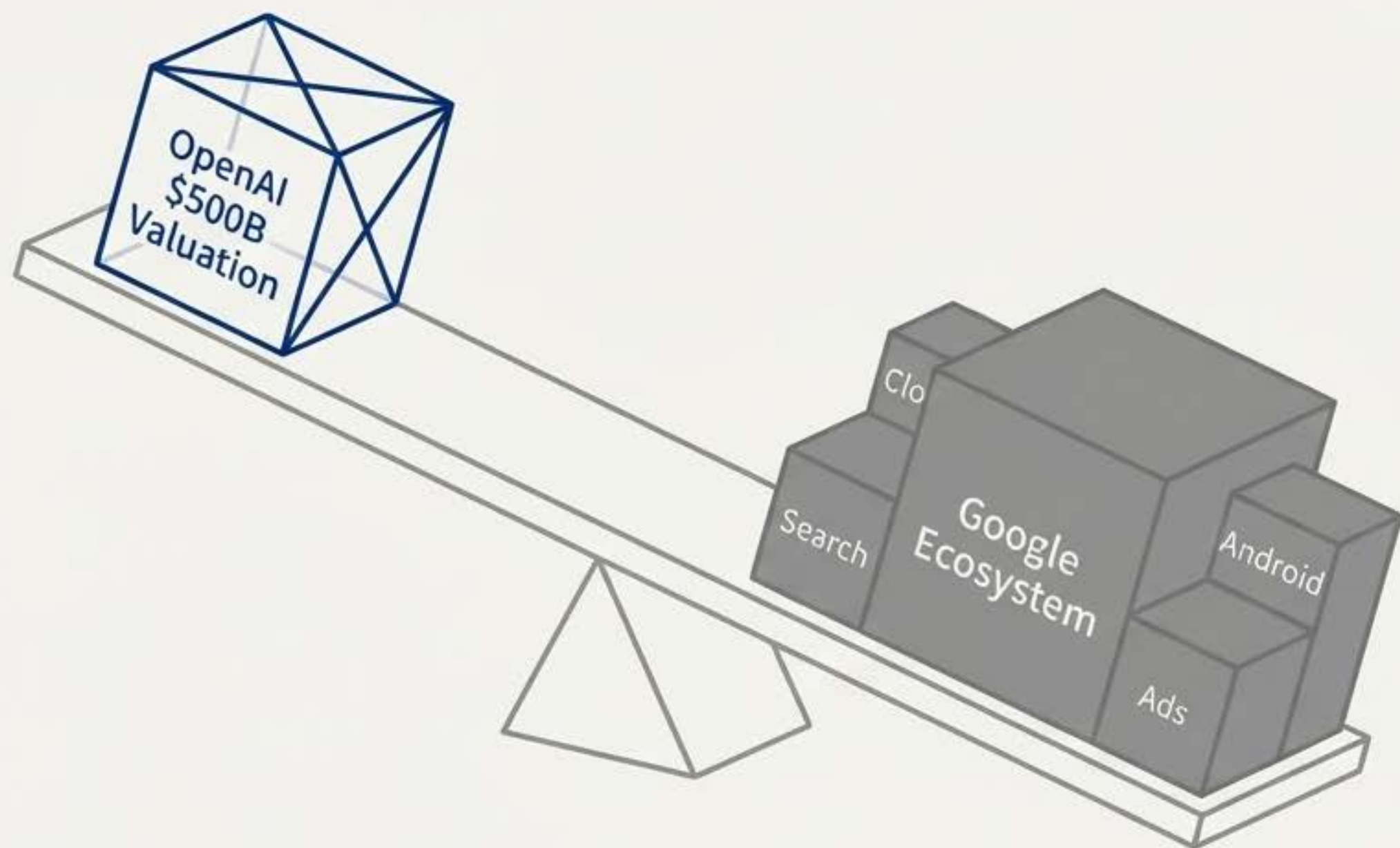
実務（スプレッドシート分析、ブラウザ操作など）の信頼性と自律実行能力が勝敗を分ける。ベンチマークスコア以上の実用性が問われる。



③ 収益性の確保 (Profitability)

圧倒的なコスト効率が価格競争力の源泉となる。API利用料とサブスクリプションに依存するOpenAIにとって、Garlicの効率化は生命線。

5000億ドルの評価額を巡る攻防



OpenAIは5000億ドル（約75兆円）の評価額を維持する必要があるが、収益モデルが構造的に脆弱である。

- **Google:** 検索や広告という巨大な収益基盤を活かし、AIを**実質無料で提供可能**。
- **OpenAI:** 収益をAPI利用料とサブスクリプションに依存しており、**価格競争で決定的に不利。構造的に脆弱**。

モデルの小型化と効率化は、この構造的脆弱性を補い、収益性を確保するための絶対条件である。

描かれる2つのシナリオ：OpenAIの未来



楽観的シナリオ (Optimistic Scenario)

- Garlicが2026年初頭にリリースされ、**コーディングと推論でGemini 3を明確に凌駕し、開発者の支持を奪還。**
- **Shallotpeat**による**土壌改良**が成功し、GPT-6に向けた**安定的なスケーリング**が再開される。



悲観的シナリオ (Pessimistic Scenario)

- Garlicのリリースが**遅延**。その間に競合が次世代モデルを投入し、差が決定的なものとなる。
- **事前学習のバグ修正が難航**し、OpenAIの**技術的優位性が完全に失われる**。



結論：「絶対王者」から「挑 「戦者」への戦略転換

OpenAIは、短期的なランキング争いや市場シェアよりも、AGI実現に向けた本質的な技術課題（事前学習のバグ、データ品質、推論効率）の解決を優先するという、野心的な賭けに出た。

「Shallotpeat」と「Garlic」は、単なる新製品ではない。それは、企業としての思想と戦略の根本的な転換点であり、再びイノベーションの最前線に躍り出るための、起死回生のマスタープランである。

ご清聴ありがとうございました

Source Material: Excerpts from 'OpenAI新モデル「Shallotpeat」「Garlic」調査 Gemini.pdf'